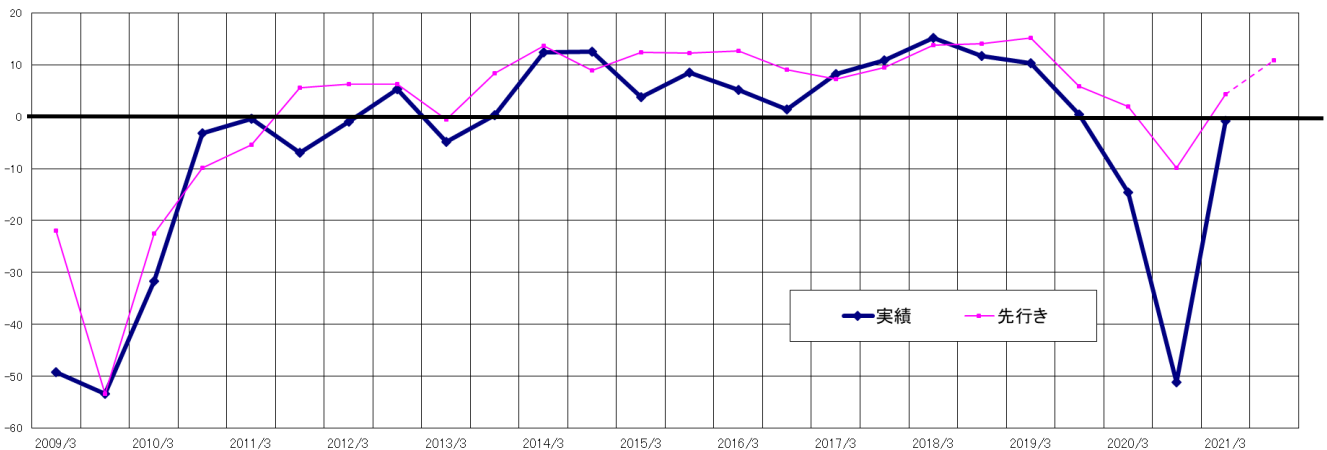


第142回 東海地区三県下(愛知・岐阜・静岡)の企業経営動向調査

- ✓全産業の業況総合判断 D.I.実績は▲0.8 でなおマイナスであるが、先行きは10.9 と今後の経営環境は改善を見込んでいる。しかし、近時の新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により今後の見通しは不透明となっている。
- ✓経営上の課題については、「売上・受注不振」および「人材の育成」が前回から引続き全業種の上位に入っており、継続的な問題となっている。
- ✓新型コロナウイルス感染症拡大に対して、「商談の遅延・延期」の影響が依然大きく、「補助金・助成金等の申請」「金融機関からの借入」など資金繰りの対応をしたとの回答が多かった。
- ✓事業承継については、計画はあると回答した企業は全体の53%。そのうち、約半数の企業がまだ計画を進めていないと回答。

【業況総合判断 D.I.推移(全産業)】



(注)「D.I」:『好転』企業の割合と『悪化』企業の割合の差、見通しは半年先の予想

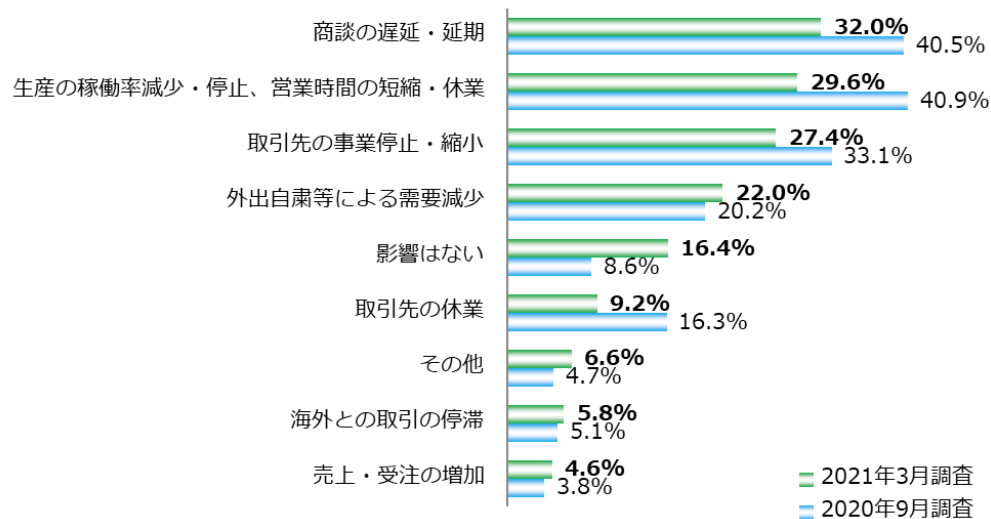
【経営上の課題】

	1位		2位		3位		4位		5位	
	課題	%	課題	%	課題	%	課題	%	課題	%
全産業	売上・受注不振	24.5 (33.0)	人材の育成	22.9 (21.0)	採用難	15.7 (12.8)	新事業展開・技術開発	9.3 (11.1)	収益不振	5.0 (-)
製造業	売上・受注不振	29.4 (43.7)	人材の育成	20.4 (19.7)	採用難	12.4 (10.4)	新事業展開・技術開発	9.0 (7.2)	設備の不足・老朽化	5.0 (10.4)
卸売業	売上・受注不振	27.1 (36.1)	人材の育成	24.3 (19.4)	採用難	10.0 (-)	収益不振	10.0 (5.5)	新事業展開・技術開発	8.6 (22.2)
小売業	売上・受注不振	30.4 (25.0)	人材の育成	13.0 (12.5)	新事業展開・技術開発	13.0 (37.5)	収益不振	13.0 (-)	採用難	8.7 (-)
建設・不動産業	人材の育成	29.7 (22.4)	採用難	26.7 (28.5)	売上・受注不振	12.9 (16.3)	新事業展開・技術開発	8.9 (-)	事業承継	5.9 (8.1)
運輸・倉庫業	売上・受注不振	21.7 (23.0)	採用難	21.7 (15.3)	人材の育成	13.0 (23.0)	収益不振	13.0 (-)	その他	8.7 (-)
サービス業	人材の育成	24.7 (25.8)	売上・受注不振	23.5 (29.0)	採用難	15.3 (9.6)	新事業展開・技術開発	11.8 (19.3)	人件費高騰	7.1 (6.4)

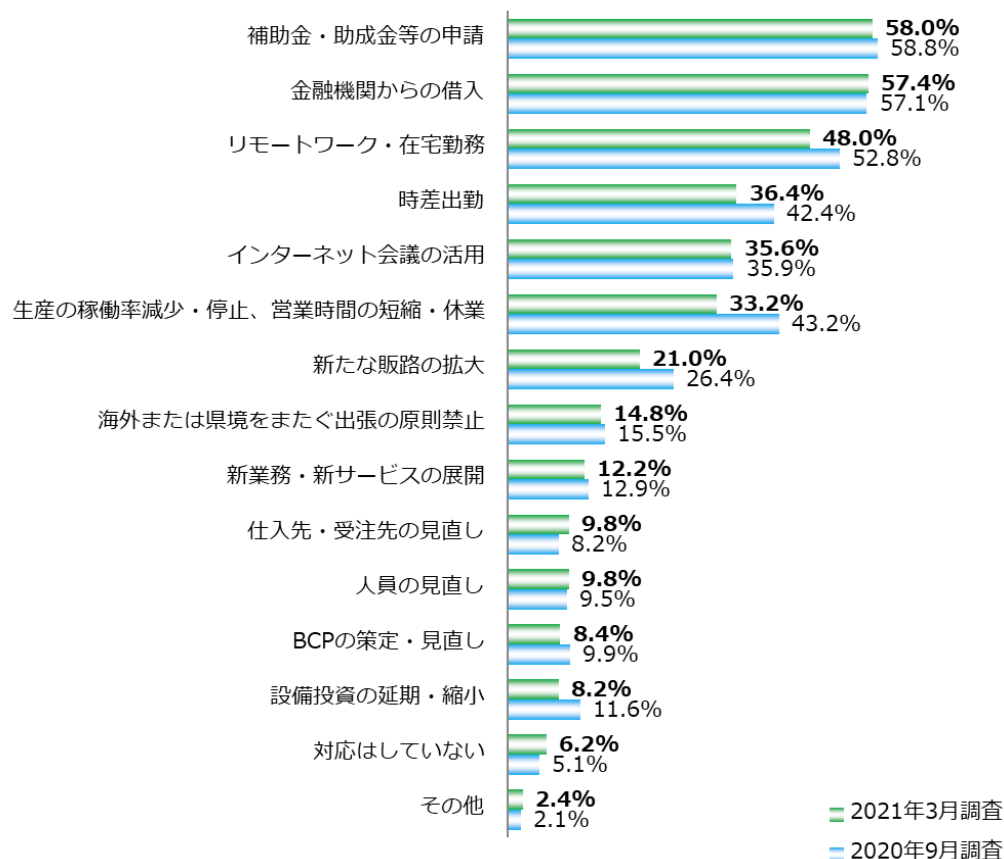
(注)カッコ内は前回調査

- ✓新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、「商談の遅延・延期」「生産の稼働率減少・停止、営業時間の短縮・休業」「取引先の事業停止・縮小」の項目が、前回から割合は減少したものの引続き上位に入った。一方で、「外出自粛等による需要減少」を選択した企業は 20.2%→22.0%に増加した。
- ✓新型コロナウイルス感染症拡大への対応については、「補助金・助成金等の申請」「金融機関からの借入」など資金繰りに関する項目が前回同様上位に入った。また、多くの企業が「リモートワーク・在宅勤務」「時差出勤」「インターネット会議の活用」など、感染拡大防止に向けた取組みを継続して行っていると回答した。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響】

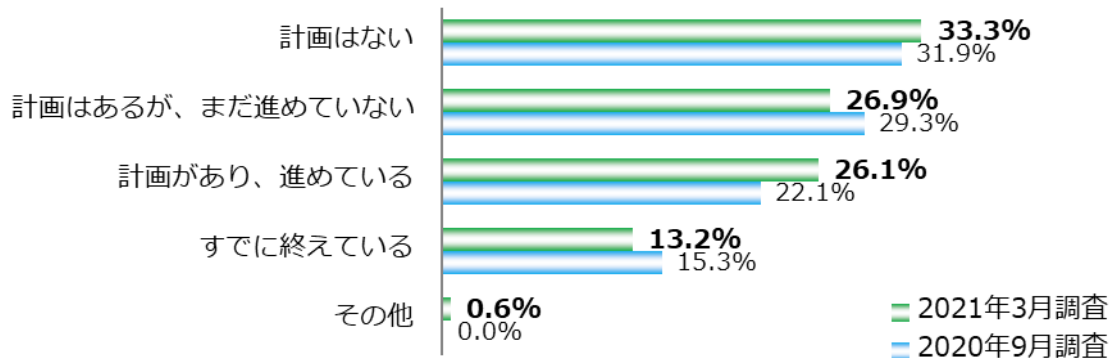


【新型コロナウイルス感染症拡大への対応】

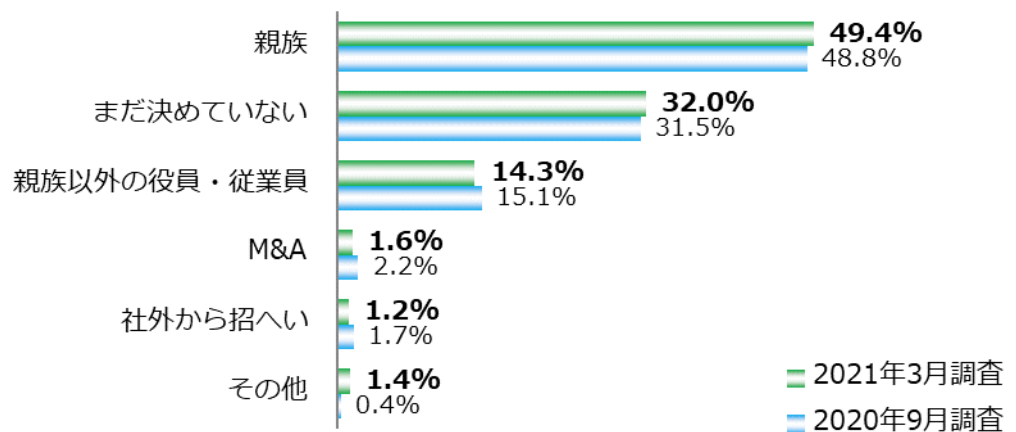


- ✓事業承継の状況については、計画はあると回答した企業の割合は53.0%。そのうち「計画があり、進めている」と回答した企業の割合は26.1%、「計画はあるが、まだ進めていない」と回答した企業の割合は26.9%であり、計画はあるもののまだ進めていない企業が約半数となった。
- ✓後継者候補については、前回同様「親族」が半数近くを占め、「M&A」や「社外から招へい」と回答した企業は少数となった。
- ✓事業承継の課題については、前回同様「後継者の教育」を課題とする企業が半数近くを占め、「株式の譲渡」「取引先との関係維持」の項目が続いた。

【事業承継の状況】



【後継者候補】



【事業承継の課題（複数回答可）】

